

茶郷川治水協議会会報

第28号

令和2年5月25日 発行

発行元 茶郷川治水協議会事務局
(小千谷市建設課)

茶郷川治水協議会 令和2年度総会について

本年度の当協議会の総会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止と、参加者ならびに関係者の安全確保を目的に、一堂に会する審議方法ではなく、書面による審議とさせていただきますこととなりました。

なお、茶郷川環境整備協議会の総会についても同様の対応をしております。

茶郷川治水協議会 令和2年度の主な事業計画

- 茶郷川治水対策の調査、研究及び推進に関する活動
- 茶郷川治水事業に対する合意形成に関する活動
 - ・会報の発行
 - ・河川管理者との連携強化など
- 茶郷川環境美化に関する活動
- 先進地視察研修
- 小千谷市が行う事業
 - ・説明会や座談会等の開催
 - ・排水ポンプ車等の操作訓練への参加

台風19号による信濃川出水状況と茶郷川の対応について

令和元年台風19号による広域的な豪雨の影響で、信濃川でも水位が著しく上昇し、小千谷水位観測所（元町地内）では、10月13日に観測史上最高水位（50.19m）を記録しました。上流の長野県内の千曲川では堤防が決壊するなどし、各地で甚大な被害が発生しましたが、茶郷川では被害はありませんでした。

台風による信濃川の水位上昇中の茶郷川では、茶郷川樋門地点の堤防上で国土交通省の排水ポンプ車が排水するとともに、緊急的に三古用水2号トンネルを通じた信濃川への排水を行いました。防災・減災のためのソフト対策には、関係機関が一体で取り組むことが重要となっています。

令和元年10月13日の信濃川水位上昇と排水ポンプ車稼働状況



茶郷川下流域(信濃川合流部)の洪水対策について

小千谷市では、茶郷川下流域の浸水被害を防止・軽減するソフト対策として、国土交通省への排水ポンプ車の稼働の要請に加え、新潟県・農水省とも相互に協力し、やむを得ない場合には三古用水2号トンネルに通水できるよう協議を進めています。

茶郷川の河川整備については新潟県が計画の原案を作成している段階であり、ハード対策が不十分な間は、特にしっかりと取り組んでいく必要があります。

茶郷川の信濃川合流部の状況



茶郷川の河川整備計画検討状況について

一級河川の水系では圏域ごとに河川整備計画を策定していますが、茶郷川は「信濃川水系中流圏域」の80河川のうちの1河川です。

河川整備には莫大な費用と長い期間が必要になりますが、河川整備計画によって当面の整備目標と優先的に整備すべき対象区間を定め、段階的ながらも着実に治水安全度を向上させていく整備が実施されています。

新たな浸水被害の発生など状況の変化があると、新潟県は、必要に応じて河川整備計画を変更し整備対象河川を追加していますが、信濃川中流圏域には令和元年8月の一部変更で黒川流末川が追加となっています。

茶郷川についても、新潟県は、河川整備計画に追加する必要があると考え平成30年度から河川整備計画原案の作成に着手し、近年の豪雨状況を反映して計画流量を見直すなどの検討が進められていますが、やはり治水対策としては、平成18年当時の原案と同じく放水路整備が必要な見通しであるとのこと。

当協議会では、新潟県による計画策定への支援として、関係者の合意形成に取り組んでいきたいと考えています。

信濃川中流圏域河川整備計画の整備対象河川



※ 整備計画は、検討に着手してから流域協議会を複数回開催し、計画が策定されるまでに、一般的に数年間かかります。